

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、適切な避難行動をとりましょう

新型コロナウイルス感染症が収束しない中でも、
災害時には、危険な場所にいる人は避難することが原則です。

知っておくべき5つのポイント

- 避難とは[難]を[避]けること。
安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。
- 避難先は、小中学校・公民館だけではありません。安全な親戚・知人宅に避難することも考えてみましょう。
- マスク・消毒液・体温計が不足しています。
できるだけ自ら携行して下さい。
- 市町村が指定する避難場所、避難所が変更・増設されている可能性があります。
災害時には市町村ホームページ等で確認して下さい。
- 豪雨時の屋外の移動は車も含め危険です。
やむをえず車中泊をする場合は、浸水しないよう周囲の状況等を十分確認して下さい。



台風・豪雨時に備えてハザードマップと一緒に 「避難行動判定フロー」を確認しましょう

平时に
確認

「自らの命は自らが守る」意識を持ち、
自宅の災害リスクとるべき行動を
確認しましょう。

避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動は？ 必ず取組みましょう

ハザードマップ*で自分の家がどこにあるか
確認し、印をつけてみましょう。

*ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害が起こる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周りと比べて低い土地や崖のそばなどにお住まいの方は、市区町村からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として※、
立退き避難（自宅の外に避難）が必要です。

例外

※浸水の危険があっても、
①洪水により家屋が倒壊又は崩落してしまう
おそれの高い区域の外側である
②浸水する深さよりも高いところにいる
③浸水しても水がひくまで我慢できる、
水・食糧などの備えが十分にある
場合は屋内安全確保（自宅に留まり安全
確保すること）も可能です。

解説は裏面をご覧下さい

ご自身または一緒に避難する方は避難に時間が
かかりますか？

いいえ

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚
や知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル3高齢者等避難が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や知人はいますか？

はい

いいえ

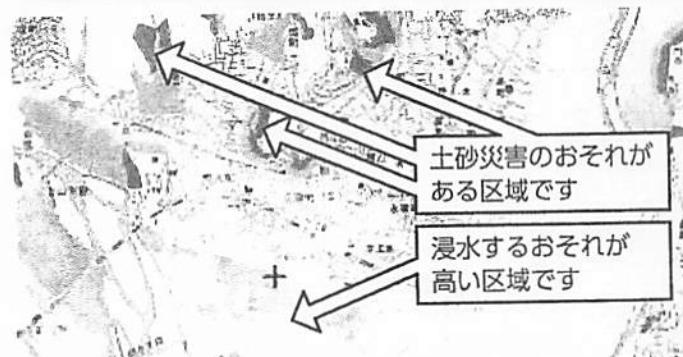
警戒レベル4避難指示が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう（日頃から相談しておきましょう）

警戒レベル4避難指示が出たら、市区町村が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

避難行動判定フローの参考情報

ハザードマップの見方

必ず確認してください



*ハザードマップの着色や凡例は市町村によって異なる場合があります。

水害
洪水浸水想定区域
(浸水深)

3・4階	5m～10m未満 (床面上高水～4階床下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

土砂災害
土砂災害警戒区域：
土砂災害のおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域：
建造物に損壊が生じ、住民等の生命又は身体に著しい危害が生じるおそれがある区域



ハザードマップポータルサイト

検索

ハザードマップの見方

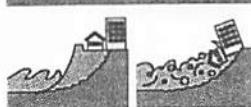
もっと詳しく知りたい人向け

次の3つが確認できれば浸水の危険があっても自宅に留まり安全を確保することも可能です

① 家屋倒壊等氾濫想定区域に入っていない
(入っていると…)



流速が速いため、木造家屋は倒壊するおそれがあります



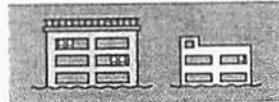
地面が削られ家屋は建物ごと崩落するおそれがあります

② 浸水深より居室は高い

3・4階	5m～10m未満 (床面上高水～4階床下浸水)
2階	3m～5m未満 (2階床上～軒下浸水)
1階	0.5m～3m未満 (1階床上～軒下浸水)
1階床下	0.5m未満 (1階床下浸水)

③ 水がひくまで我慢でき、水・食糧などの備えが十分

(十分じゃないと…)
水、食糧、薬等の確保が困難になるほか、電気、ガス、水道、トイレ等の使用ができなくなるおそれがあります



*①家屋倒壊等氾濫想定区域や②水がひくまでの時間(浸水継続時間)はハザードマップに記載がない場合がありますので、お住まいの市町村へお問い合わせください。なお、重ねるハザードマップには①及び③の記載はありません。

警戒レベル3や警戒レベル4が出たら、危険な場所から避難しましょう。

「避難」とは「難」を「避」けることです。
安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。

避難先は小中学校・公民館だけではありません。
安全な親戚・知人宅やホテル・旅館に避難することも考えてみましょう。

*緊急時に身を寄せる避難先は、市町村が指定する「指定緊急避難場所」や、安全な親戚・知人宅など様々です。
普段からどこに避難するかを決めておきましょう。

*「指定緊急避難場所」は、災害の種類ごとに安全な場所が指定されています。(小中学校、公民館など)

*災害が落ち着いた後に、自宅が被災し、帰宅できない場合には、しばらく避難生活を送るため、「指定避難所」に行きましょう。

わからないことがありますたらお住まいの市区町村にお問い合わせください。

(参考)内閣府防災ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定(令和3年度)」
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline

台風・豪雨時に「避難情報のポイント」を確認し避難しましょう

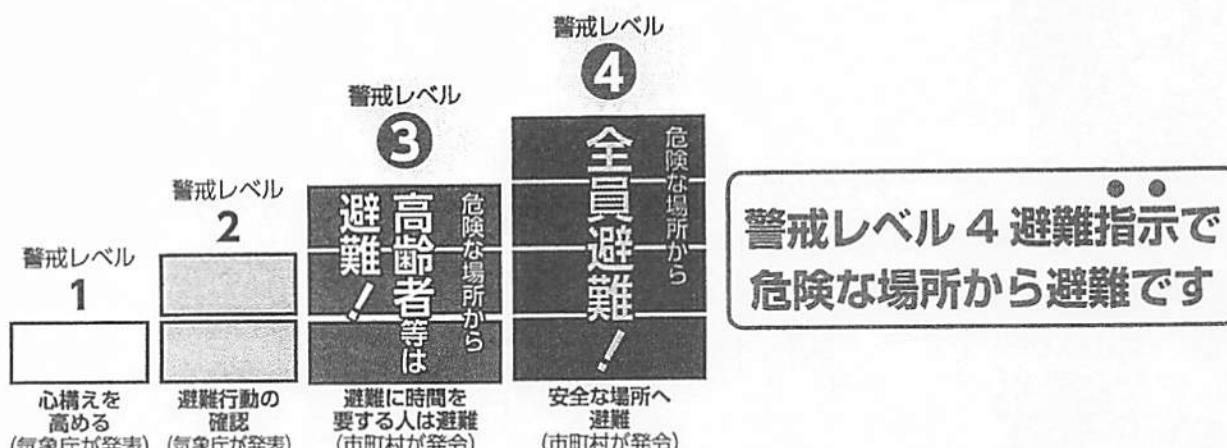
緊急時
に確認

避難情報のポイント ！……必ず確認してください……！

市区町村から出される避難情報（警戒レベル）

- 避難とは難を避けること、つまり安全を確保することです。
- 安全な場所にいる人は、避難場所に行く必要はありません。
- 危険な場所から警戒レベル3で〈高齢者等は避難〉、警戒レベル4で〈全員避難^{※1}〉です。

※1 警戒レベル4「全員避難」は、高齢者等に限らず全員が危険な場所から避難するタイミングです。



警戒レベル5はすでに災害が発生・切迫している状況です。

- 警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。
- 警戒レベル5緊急安全確保の発令を待ってはいけません！
- ただし、警戒レベル5は、市区町村が災害の発生・切迫を把握できた場合に、可能な範囲で発令される情報であり、必ず発令される情報ではありません。

警戒レベル4は避難指示に一本化されました。

- 避難のタイミングを明確にするため、令和3年の災対法改正以前の警戒レベル4避難勧告と避難指示（緊急）は「避難指示」に一本化され、避難指示は令和3年の災対法改正以前の避難勧告のタイミングで発令されます。
- 警戒レベル4避難指示は、立退き避難に必要な時間や日没時間等を考慮して発令される情報で、このタイミングで危険な場所から避難する必要があります。

警戒レベル3は高齢者だけの情報ではありません。

- 「高齢者等」は障害のある人や避難を支援する者も含んでいます。
- さらに、高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難するタイミングです。

豪雨時の屋外避難は危険です。車の移動も控えましょう。

国土交通省・気象庁・都道府県から出される 河川水位や雨の情報(警戒レベル相当情報)

■キキクル(危険度分布)で、お住まいの地域の状況を確認しましょう

気象庁から市区町村単位の警戒レベル相当情報*が出されたら、お住まいの地域の状況が詳細にわかる情報「キキクル(危険度分布)」を確認してください。紫色は危険度が高いことを示しています。

住所を登録しておけば、お住まいの地域が危険になったら自動的にスマートフォンに通知される「危険度分布通知サービス」もありますので、ご活用ください。

[キキクル](#) [検索](#)



紫：崖・渓流の近くは危険



紫：低地は危険



紫：河川沿いは危険

*市区町村単位で発表される情報には、大雨特別警報、土砂災害警戒情報、大雨警報などがあります。

■市区町村が出す警戒レベル3又は警戒レベル4(避難情報)で必ず避難しましょう 気象庁などから出る河川水位や雨の情報を参考に自主的に早めの避難をしましょう

避難情報等

(警戒レベル)

警戒レベル	状況	住民がとるべき行動	避難情報等
5	災害発生又は切迫	命の危険直ちに安全確保！	緊急安全確保
<i><警戒レベル4までに必ず避難！></i>			
4	災害のおそれ高い	危険な場所から全員避難	避難指示
3	災害のおそれあり	危険な場所から高齢者等は避難	高齢者等避難
2	気象状況悪化	自らの避難行動を確認	大雨・洪水注意報
1	今後気象状況悪化のおそれ	災害への心構えを高める	早期注意情報

河川水位や雨の情報

(警戒レベル相当情報)

防災気象情報(警戒レベル相当情報)	氾濫の情報(河川)	土砂災害の情報(雨)
5 相当	氾濫発生情報	大雨特別警報(土砂災害)
4	氾濫危険情報	土砂災害警戒情報
3	氾濫警戒情報 洪水警報	大雨警報
2	氾濫注意情報	——
1 相当	——	——

市区町村長は、河川や雨の情報(警戒レベル相当情報)のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等(警戒レベル)の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

わからないことがありますたらお住まいの市区町村にお問い合わせください。

(参考)内閣府防災ホームページ「避難情報に関するガイドラインの改定(令和3年度)」
http://www.bousai.go.jp/oukyu/hinanjouhou/r3_hinanjouhou_guideline

命を守る正しい避難行動!

発令される「避難情報」

警戒レベル・状況

行動を促す情報 ⇒ 市民がとるべき行動



緊急安全確保 ⇒ 命の危険

災害が発生していることを把握した場合に、可能な範囲で発令します。

災害のおそれ高い

避難指示 ⇒ 全員避難

災害のおそれあり

高齢者等避難 ⇒ 危険な場所から高齢者、障がいのある方等は避難

(他の市民の方は必要に応じ、危険を感じたら自主的に避難する)

気象状況悪化

注意報 (気象庁) ⇒ 避難行動を確認

今後気象状況悪化のおそれ

早期注意情報 (気象庁) ⇒ 心構えを高める

わたしの家に避難に時間を要する人

ご高齢の方

介助の必要な方

病気の方

赤ちゃんや小さい子ども

妊婦

障がいのある方

がいます。

わたしの避難するタイミングは

例: 警戒レベル3など

です。

●警戒レベルは、洪水、土砂災害、高潮、内水氾濫の場合に伝達します。(津波は対象外)

●災害が発生するおそれが極めて高い状況等で、避難場所への避難がかえって危険となる場合には、近隣の安全な場所へ避難する(立退き避難)か建物内のより安全な部屋へ移動(屋内安全確保)してください。

●上記の避難情報によることなく身の危険を感じたら、迷わず自発的に避難してください。

(R3.改訂)

避難情報・防災気象情報を入手する

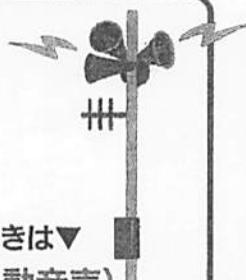
テレビ(データ放送)

ニュースなどで最新情報を入手しましょう。データ放送では、災害情報や避難情報が配信されます。



同報防災無線

市内の屋外スピーカーから避難情報等を発信します。



▼聞き取れなかったときは▼

電話案内サービス(自動音声)

0180-99-7171

金沢ぼうさいドットコム

気象警報、避難情報などを登録者へメールでお知らせします。

▼登録はこちら▼



金沢市ホームページ

避難情報、避難所の開設場所などをお知らせします。



スマホで情報入手

▼河川の水位▼ ▼気象情報▼ ▼土砂災害情報▼



石川県河川総合
情報システム



金沢地方気象台



石川県土砂災害
情報システム

金沢市公式SNS・アプリ

緊急時、避難情報や災害に関する情報を通知します。

Twitter



ツイッター

LINE



ライン

iOS用



金沢市公式アプリ



事前に準備しましょう

我が家の中の避難場所(避難所)

例:〇〇小学校など

記入しましょう

我が家の中の集合場所

各町会指定の集合場所など

記入しましょう

わたしの家は浸水区域に

含まれています

(浸水深_____m)

含まれていません

わたしの家は土砂災害(特別)警戒区域に

含まれています

含まれていません

避難ルートを確認しよう

ハザードマップを確認しよう



日頃から3日分の食糧を備蓄し、避難所へ持っていく